

学年	中学2年	教科	美術	科目	美術	単位数	2
教科書名	美術2・3 探求と継承 (開隆堂)			副教材名	画材など		
コース・クラス	中高一貫						

1. 目標

- ・ 図画工作で培われた感性や表現・鑑賞における基礎的な能力などの学習経験を生かし、美術での資質や能力向上と豊かな人間性の形成を図る。
- ・ また、ものを作る過程で教材や道具を安全、大切に扱うことを学び、マナーやルールを守ることを身につける。

2. 授業のねらい

- ・ 身近な人をスケッチしたり、身の回りの動植物を表現したりする題材から「身近な人、ものへの愛着」や「生命の尊さ」を学ぶ。「色の性質」や色彩についての基礎知識を学ぶ。

3. 授業の進め方

- ・ 美術室で行う。参考作品(教員の作例、過去の生徒作品、作家の作品)の鑑賞を通して課題を理解し、そこから自のイメージを膨らませる。
- ・ 頭の中で考えたことを紙の上にスケッチしてイメージと現実のギャップを感じ取り、足りない部分を根気よく補いながら自分のイメージ に近づくよう制作する。
- ・ 道具を使用する作業の場合は安全に注意し、説明に従って作業をする。「すずかけ祭」で作品展示を行う。

4. 学習上の留意点

- ・ 今後の学習や制作につながるような規則正しい行動をする。自分の考え方や、課題に対する考え方を大切にする。
- ・ 提出物の期限を守る。
- ・ 作業後の後片付けをきちんと行う。個々の材料や道具には記名をして管理する。

5. 定期試験

- ・ 定期試験では行わず、実技テストを授業時間中に行う。

6. 評価方法

- ・ 技術的な完成度と制作に対する熱意、限られた条件の中での工夫や表現内容の豊かさ、発展性、計画性、提出限を守れたかなどを評価の視点とする。また、出席状況や授業態度も重視する。

7. 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4	革工芸 ・定期入れを制作	作品提出	<ul style="list-style-type: none"> ・レーザーカービングの技法を理解する。 ・革工芸の手順を理解し、愛着のある作品を作り上げる。 ・手作りでしか味わえない良さや美しさを感じ取る。材料の特性を生かしながら、自分の手でものを作り出す喜びを味わう。 ・すずかけ祭で展示する。
	5	・愛着を持てるデザインを考えて制作する。 鉛筆デッサン	授業態度	
	6	・ものの形の捉え方、質感、量感など踏まえ与えられたモチーフを描写する。	実技テスト	
	7			
二学期	9	ガラス工芸 ・サンドブラストでガラスにデザインする。	作品提出	<ul style="list-style-type: none"> ・アートナイフの使い方を理解する。 ・作る喜びと鑑賞する楽しさを学ぶ。 ・自らのイメージに忠実に、根気よく表現する。 ・与えられたテーマに沿って、視覚伝達できるポスターを制作する。
	10	・季節に合ったデザインのガラスの制作	授業態度	
	11	デザイン ・ポスター制作	実技テスト	
	12	・企業のコンクールに出品する作品の制作		
三学期	1	プッシュスタンド ・ファンタジーライトの制作	作品提出	<ul style="list-style-type: none"> ・色彩学で学んだ知識を生かし、光を意識した作品を制作する。 ・作り喜びと鑑賞する楽しさを学ぶ。
	2	・家に置きたい楽しいデザインを考えて制作する。 光の効果などを考えて制作する。	授業態度	
	3			

※ シラバスの内容（時間や事項）については、理解度やその他の都合により変更することもあります。